

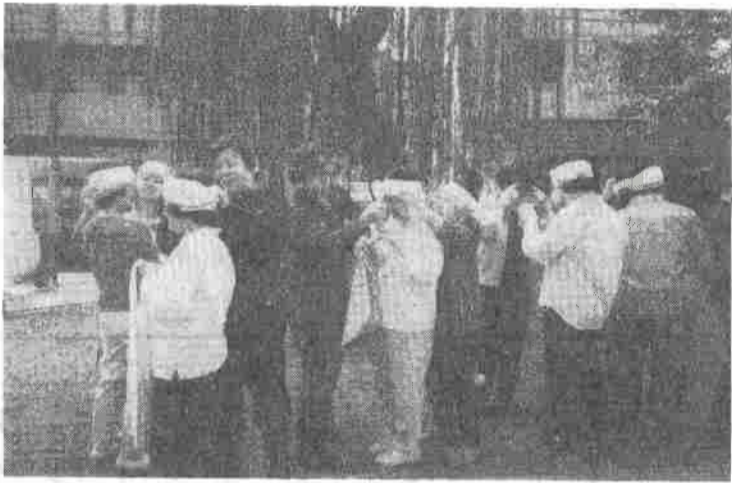
さんぽみち



発行 わがまち大田鶴の木地区推進委員会

連絡先
鶴の木特別出張所
☎ 3750-4241

わがまちの防災—自分たちのまちは自分たちで守る



わがまちを守る

田園調布消防署 渡邊 正男

阪神・淡路大震災では、多くの建物が倒壊し、同時に火災も発生し、多数の住民が負傷したりしました。その時、一番活躍したのは、自衛隊・消防・警察・行政だったでしょうか。多くの被災した住民が立ち上がり活躍したのではないのでしょうか。

吉井博明著「都市防災」によると、全壊住家数十万棟、うち倒壊住家数約三万棟、このため多くの高齢者が生き埋めになりました。神戸・西宮住民調査によると、警察・消防・自衛隊によって救出されたのは非常にわずかで、救出された人の実に96%が住民等による自主救出でした。

一方、住民による消火も活発に行われました。西宮市では、発生した三十五件の火災の八割で、初期消火が行われ、うち四件が、消防隊の手を煩わせることなく消火に成功しました。また、負傷者の大部分も、自ら歩いて、あるいは家族や近所の人達に運ばれてきたのです。

地域の防災を考える上で重要な事のひとつに、「自分たちのまちは自分たちで守る」という事があります。自主防災の組織的な体制のもとで、地域の人々が協力しあって、防災行動力を高め、災害に立ち向かう事が大切であると思えます。

わが町の防災訓練

鶴の木西町会・女子消防隊員

金子 富美子

誰しもが、天災は恐ろしいと思っ
ています。災害に備えている
な訓練を体験する事で、いざ
という時大きな力を出せるの
だと思
います。

二年前、夜間防災訓練を機に、
防災機関のなかった鶴の木西町
会に、女子消防隊が発足しまし
た。

現在九名の隊員が、月一回の訓
練を行っています。整列・ポン
プ始動・放水と訓練を繰り返す
ことで、いかに、ひとりひとりの役割
と協力が必要とするか、また災害
と防災に対する意識と知識の重要
さを学びました。

防災に対する意識と知識は、あ
りすぎてこまることはありません。



ひとりひとりが声をかけ合い助け
合えば、家族や町を守ることが出
来るのです。

女子消防隊員も、予測できない
災害に向けて、これからも訓練を
重ねてゆきたいと思っています。

「備えあれば、憂いなし」そう
あってほしいと願っています。

私たちの町を

みんなできれいに

十月二十三日、「鶴の木地区
クリーンアップデー」が行われ
ました。この活動は鶴の木地区
の小・中学校・高校の生徒や住
民等が協力して一斉清掃を行
いながら、ゴミ問題への関心を深
めるもので、今回で十四回目
になります。当日は、約千名の方
が参加し、町の美化に汗を流し
ていました。



違法駐車をする前に利用してみよう私の町の駐輪場 千鳥町駅前自転車駐輪場

(所在地) 千鳥3-7 (こども発達センターわかばの家地下)

(収容台数) 390台

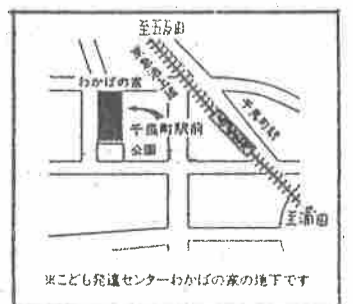
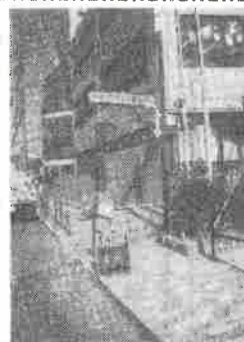
(料金) 自転車のみ利用

月極 2000円 当日利用 100円

(利用時間) 午前6時～午後11時まで

★直接窓口で利用手続を行ってください。

★問合せ先 交通安全対策課 (3773) 5566



わがまちあの人 この人

花あそびのすすめ

千鳥二丁目 澤崎 愛子

花の万博以来の花ブーム、そして昨今のガーデニング、ペランダ園芸等、現代人は自然にあこがれ植物と親しむ時間を求めているようです。

最近、私はよくカサブランカと花あそびをしています。カサブランカという名前を聞くと、映画好きならずとも往年の名画「カサブランカ」を連想するかもしれません。私が、私のカサブランカは、百合の花の名前です。町の花屋さんの店先には必ず置いてある、白い大きな香りのよい花です。この百合は一九八〇年代オランダで品種改

良された新しい花ですが、原種は日本特産のタモトユリとカノコユリ、ヤマユリ等が交配され大輪の白いカサブランカが誕生したそうです。貴品あふれる花は花嫁のブーケに、生け花、アレンジメントに大層人気があります。一本の枝に五つ位花をつけ、切り花にしても最期のつぼみまで必ず咲いてくれるうれしい花です。

暮らしの中に花があると心なごみややすらぎを感じます。戸棚の奥にしまいこんだ小鉢や酒器に小花を添えて食卓に置いてみませんか。花が、語りかけてくるようです。

鶉の木地区連合運動会に参加して

十月十九日に、鶉の木地区連合運動会が、大森第七中学校で行われました。当日参加された方々のコメントを紹介します。

- こんなに地域の人達が集まって素晴らしい。 二十代女性
- 楽しくていい、運動不足の解消になった。 四十代男性
- 野球の関係で参加した。子供達は楽しみにしている。 三十代女性
- 毎年、だんだん参加者が増えてきている。特に子供が増えた。三年前は少なかった。 六十代男性
- 小さい子どもの参加が多くてよかった。 四十代男性
- 年々人が集まってきた。毎年続けていくと良い。 五十代男性
- 今年は年少者が多いのでケガがないといいですね。 五十代女性



- むかで競走に参加しておもしろかった。今回初めて参加した。 三十代男性
- 楽しかった。準備する人は大変だったでしょう。 四十代女性
- もつと宣伝していっぱい集まるようになるといい。 五十代男性

デイキャンプにいったよ!

楽しかったデイキャンプ

東三小四年 秋本 麻紀子

九月二十七日に、若州浜海浜公園にいきました。はいつてすぐに、カレー作りをしました。私は、野菜を切る係でした。たまねぎがとても目にしみて、がまんできなくなりました。みんなで作ったカレーは、とてもおいしくて、二回おかわりをしました。サイクリングができなくて残念だったけど、アスレチックでもおもしろい遊びました。



デイキャンプ

嶺町小一年 ささば だいき

みんなでカレーをつくりました。ぼくは、火のかかりで、おにとやさしいをいためました。おいしいカレーだったのでおかわりをしてたべました。たべおわって、みんなであそびました。たのしかったです。

リレーエッセイ

魚影にひかれて

鶉の木二丁目 俵 久

久が原から鶉の木に移って、早や四十七年になります。家並みは、時代とともに変わってきましたが、多摩川は現在も干満の差をつけて流れ、河辺には四季を通して水鳥が飛来し、自然を残しております。

一時は、工場排水などで川が汚染され、生息していた魚類(鯉、鮒、鱒、鮭、鱈、口細、目高)や蜆に至る迄、壊滅した事もありましたが、現在では、水道水の開放

や水質公害規制が徹底されたので、透明度が良くなり、蜆を除いては魚類の回避が見られるようになりました。特に鮎、手長蝦は川に住む砂蚕を餌に釣人を喜ばせております。自然に恵まれた多摩川付近に住んで、魚影にひかれて釣りを楽しむ幸せを日々感謝しております。次回は鶉の木三丁目の

伊集院 雅英さんです。

俳句

鶉の木三丁目 根本 秋碩

短日や 改札出でて 主婦の顔

魚市場

朝市の 新春の塩 きらめけり

寒波来る あら煮にそそぐ 爛まじ

鶉の木一丁目 中村 桂女

芦の牧温泉

澄みまざる 寒林を透く 湖の碧

真蘭より 雪のちらつく 露天風呂

揚げし舟 浮く舟雪を 積みてをり

編集後記

災害はいつ起こるか解りません。私達地域での防災活動をご紹介し、皆様の認識を深めていただき、災害に備えてください。又ご近所で、具体的な防災に関する話し合いを心掛けてほしいと願っております。

身近な我が家の出来事、町の話題等、原稿をどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

編集長 池田 進太郎

鶉の木特別出張所管内	
人口	男 10,641名
	女 10,875名
	計 21,516名
世帯数	10,200世帯
平成9年11月1日現在	